

## 新ブランド立ち上げの背景

—日本のスポーツを世界レベルに引き上げるために—  
より多くのアスリートに応える商品開発

DNSのミッションは、「日本のスポーツを世界レベルに引き上げる」。その一環として、商品開発・販売だけでなくアスリートに対する、正しい栄養やトレーニングの啓蒙・教育活動を実施しています。

こうした姿勢に対して、「トップアスリート」を中心に大きな支持を頂き、ブランド誕生からわずか7年で、スポーツ流通におけるプロテイン市場でシェア2位の地位に至りました(2007年、当社調べ)。

正しい知識の啓蒙、サプリメントの普及。トップアスリートだけでなく「アスリート層・フィットネス層」を対象に、こうした活動を広げたい、という思いが、「DNS ACTIVE」の発端です。

※アスリート層・フィットネス層はハードではないものの、フィットネスジムなどでトレーニングをしている人。部活や体育会はハードではないものの、日常的にスポーツを楽しんでいる人々

サプリメントを摂取すればより高い効果を上げられるのに関心が低い人、興味はありながら飲みにくさなどから抵抗感がある、あるいは適した商品を選ぶことができない人。こうした方々に、正しい知識とDNS直系の本格サプリメントを伝えたいと考えています。

### 「アスリートボディを目指せ。」

「アスリート層・フィットネス層」の中にも、現在プロテインを摂取している方々が存在します。調査の結果、この層の摂取目的も、シリアスアスリートと同じ「筋力アップ」であることが分かりました(目的の第2位は「ダイエット」)。正に親ブランドDNSの強みを生かせるポイントです。

### 「アスリート層・フィットネス層」に向けた商品コンセプト

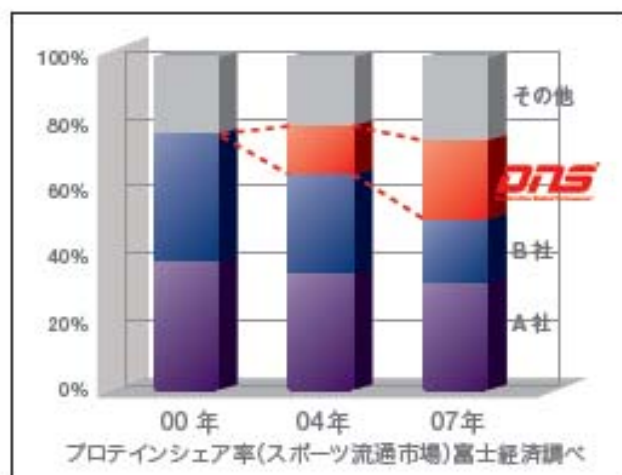
プロテイン摂取の目的が同じとは言え、DNSがターゲットとするシリアスユーザーから、「アスリート層・フィットネス層」向けに、商品企画をブラッシュアップしました。第一に「飲みやすさ」。プロテインの取っ付きにくさ、あるいは継続できない大きな理由は、「味」にあります。トレーニング・運動した直後にマズイものを飲むのは大きな苦痛を伴います。WHEY PROTEIN FOR MUSCLEは、DNSで定評のある味を更に進化させ、デザート感覚の美味しさを実現しました。

第二に6種類のビタミンB群・ビタミンCの配合。必要に応じて摂取すべき栄養素を自ら選択・摂取できるシリアスアスリートとは異なるライトユーザーが、プロテインと同時にこれらの栄養を同時に摂取できるようにいたしました。

第三に、パッケージ。プロテインに対する抵抗感を薄め、気軽に手にとって頂け、更に同商品最大の特徴である美味しさをシズル感溢れるビジュアルで表現するデザインを採用しました。

### 「アスリート層・フィットネス層」向けの販売ルート

調査の結果、「アスリート層・フィットネス層」は、サプリメントをスポーツ店よりもむしろドラッグストアで購入する傾向にあることが分かりました。スポーツ店に行く頻度は必ずしも高くなく、近所の店で手軽に購入する。折から、ドラッグストア側でも、より魅力的なスポーツサプリメントを求めており、こうして、DNS ACTIVEをドラッグストアルートにて販売することになりました。



## DNS(ディーエヌエス)とは

「日本のサプリメント文化を世界水準に高める」を出発点に、「プロテインは高価で飲みにくい」という常識を覆したプロテインシリーズをはじめとした、アスリートがアスリートのために開発したスポーツサプリメント。2000年に「ホエイプロテインG+」を開発・発売。当時、プロテインの平均価格が8,000円/kgの中、高品質で飲みやすいプロテインを4,800円/kgで提供。2007年の実績では、「シリアスアスリート」の支持を得て、参入後7年で業界2位の市場シェアを築く。

### 《DNS 2008年契約選手一覧》

種目	選手名	ふりがな	所属	備考
野球	城島 健司	じょうじま けんじ	シアトル・マリナーズ(MLB)	
	松坂 大輔	まつざか だいすけ	ボストン・レッドソックス(MLB)	
	岩村 明憲	いわむら あきのり	タンパベイ・レイズ(MLB)	
ゴルフ	矢野 東	やの あずま		
	神山 隆志	かみやま たかし		
	増田 伸洋	ますだ のぶひろ		
	平塚 哲二	ひらつか てつじ		
アメフト	河口 正史	かわぐち まさふみ	アサヒ飲料チャレンジャーズ	
スキー	皆川 賢太郎	みながわ けんたろう	新潟アルビレックス	
ビーチバレー	朝日 健太郎	あさひ けんたろう		
バイク	中野 真矢	なかの しんや	ホンダグレシーニ	今年より左記のチームに移籍
サッカー	FC東京	★		
トレーニング コーチ	友岡 和彦	ともおか かずひこ	ワシントン・ナショナルズ(MLB)	ストレンクス&コンディショニング コーディネーター

★は2008年からの新契約チームです。



### 松坂 大輔(ボストン・レッドソックス)

DNSは2000年から摂取しています。他のメーカーさんから無料でプロテインを提供されていましたが、飲みやすく効果の出るDNSを自費で購入していました。その後、トレーニングプログラムを開発してもらったり、ジムでコーチを受けたりと、様々なサポートを頂きました。40歳になっても当たり前のように150kmが投げられるような、怪我をしない、丈夫な身体を維持するためにも継続していきます。